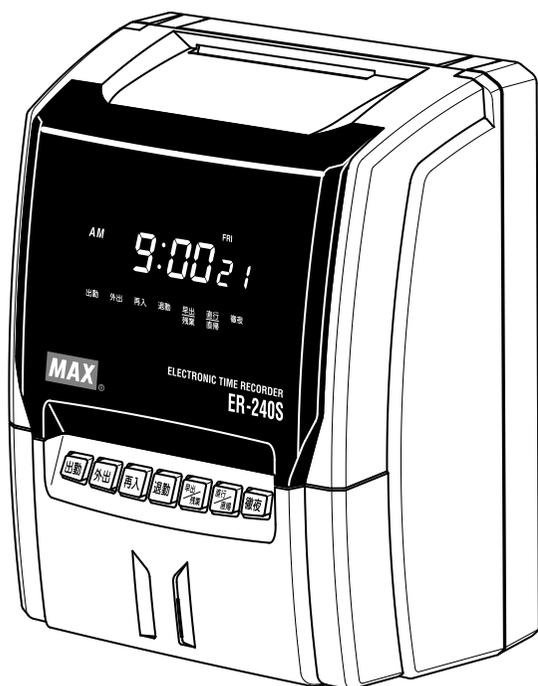


マックスタイムレコーダ ER-240S/ER-250S

取扱説明書



| | | |
|----|---------|-----|
| 注意 | ご使用上の注意 | 1~3 |
| | 目次 | 4 |

| | | |
|-----|----------------------|------|
| 操作編 | ① ER-240S/ER-250Sの特長 | 5、6 |
| | ② 各部の名称とはたらき | 7、8 |
| | ③ 毎日の使い方 | 9~13 |

| | | |
|---------------|----------------|-------|
| 設定編 | ④ 設定の仕方 | 14~30 |
| | 4-1 現在時刻の設定 | |
| | 4-2 チャイムの設定 | |
| | 4-3 出力接続時間の設定 | |
| | 4-4 締日の設定 | |
| | 4-5 日付変更時刻の設定 | |
| | 4-6 西暦年月日の設定 | |
| | 4-7 集計あり/なしの設定 | |
| | 4-8 始業時刻の設定 | |
| | 4-9 終業時刻の設定 | |
| | 4-10 早出終了時刻の設定 | |
| | 4-11 残業開始時刻の設定 | |
| | 4-12 優先順位の設定 | |
| | 4-13 集計項目の設定 | |
| | 4-14 集計丸めの設定 | |
| 4-15 パスワードの設定 | | |
| 4-16 受信回数設定 | | |

| | | |
|----------|-----------------|-------|
| ご使用中に | ⑤ 外部時報の接続 | 31 |
| | ⑥ メンテナンス | 32、33 |
| | 6-1 リポート印刷 | |
| | 6-2 データクリア | |
| | 6-3 本体のリセット | |
| | 6-4 パスワードを忘れたとき | |
| | ⑦ インクリボンの交換方法 | 34、35 |
| | ⑧ こんなときは | 36 |
| | ⑨ メッセージおよびエラー一覧 | 36、37 |
| | ⑩ 商品仕様 | 38 |
| | ⑪ 保証書とアフターサービス | 38 |
| マックス拠点一覧 | 背表紙 | |

- ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- この取扱説明書の内容を無断で転載することは禁じられています。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックタイムレコーダER-240S/ER-250Sをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

ご使用上の注意

■表示について

この取扱説明書および商品には、本機を安全に正しくお使いいただくために、いろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が予想され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

 **お願い** 本機が故障して修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するために、リセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

 **メモ** 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

 **参照** 取扱説明書のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■絵表示について

 記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。

 記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

 記号は「しなければならないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

警告



●本機は絶対に分解または改造しないでください。火災、感電、故障の原因になります。



●本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。故障や感電、けがの原因になります。

●電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしないでください。火災の原因になります。

●電源コードの上に重たいものを絶対にのせないでください。コードに傷が付いて、火災や感電の原因になります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

●水、薬品などが本機にかからないようにしてください。故障や感電の原因になります。



●電源は100V専用コンセントを使用してください。100V以外の電源を使用すると、故障や火災、感電の原因になります。



●万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理を依頼してください。そのまま利用すると、故障や火災、感電の原因になります。

●故障のまま本機を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど故障のまま使用すると火災、感電の原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

| | |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、OA機器等）とコンセントを共用しないでください。電圧が下がり本機が誤動作する可能性があります。 ● 紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 長時間使用しないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● 設置場所を移動する時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。無理をするとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。 ● インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがの原因になります。 ● 壁への取り付け作業を行う際には、必ず電源プラグを抜いてください。本機が不意に動作した時、けがや故障の原因になります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグは定期的に掃除してください。長い間にホコリ等がたまり、火災や故障の原因になります。 ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っばらずに、必ず、電源プラグを持って抜いてください。コードが破損して、火災や感電の原因になります。 ● インクリボン交換の際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹼水で洗い流してください。 ● 本機は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。 ● 壁に掛けて使用するときは、本機の重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。 |

お願い 本機のトラブルを避け、故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

- トラブルの原因になりますので次のような場所では使用および保管をしないでください。
 1. 直射日光の当たる場所やヒーターなどの熱源に近い場所
 2. ホコリや湿気の多い場所
 3. 傾いたり振動や衝撃の加わる場所
 4. 温度0℃以下、40℃以上になる場所
 5. ゴキブリなどのいる場所
- 本機の汚れを落とす際は、乾いた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤や薬品は使わないでください。変形したり変色するなどの原因になります。
- 専用タイムカード「ER-Sカード」以外は使えません。又、折れ曲がったり、破れたり、濡れたカードは絶対に使用しないでください。
- インクリボンは必ず「ER-IR101（ER-240S用）、ER-IR102（ER-250S用）」をご使用ください。
- カードの横のパンチ穴をふさいだり、破損させたりしないでください。本機はタイムカードのパンチ穴を読みとって印字欄を決定します。
- タイムカードを強く押し込んだり、印字中に抜いたりしないでください。カードは自動的に引き込まれ、自動的にもどります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用上の注意 〈ER-250Sのみ〉

⚠ 警告



●外部時報を接続するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。本機が不意に動作した時、けがや故障、感電の原因になります。



●外部時報接続には付属の電線および適用電線以外は使用しないでください。電線が発熱や破損し、火災、感電の原因になります。

●外部時報接続部の定格を越える機器を接続しないでください。火災の原因になります。

●外部時報接続部には外部時報機器以外の機器を接続しないでください。火災や故障の原因になります。

⚠ 注意



●電波受信ユニットを無理に引っばらないでください。けがや故障の原因になります。

●電波受信ユニットのケーブルの上に重たいものを絶対にのせないでください。ケーブルに傷が付いて、火災や感電の原因になります。



●タイムレコーダ本体に電波受信ユニットを取り付ける場合、付属のネジでホルダをしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因となります。

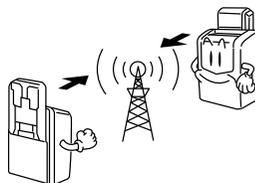
●タイムレコーダ本体に電波受信ユニットを取り付ける場合、ケーブルをフレーム背面に巻き付けてください。ケーブルのたるみは、落下、故障の原因となります。

●電波受信ユニットを壁に掛けて使用するときは、付属のネジを使用し壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因になります。

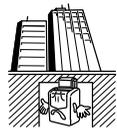
- 受信状態をよくする為に、なるべく窓の近くに設置してください。鉄筋のビル内などでは窓から遠くなると著しく電波が弱くなります。



- 電波時計は時計の設置方向によって受信感度が変わる場合があります。木造の建築物では受信アンテナを電波送信所（福島局あるいは九州局）のある方向に向けて垂直に設置すると受信しやすくなります。鉄筋の建築物の場合は窓の大きさや窓からの距離等により、受信しやすい向きが変わります。



- 受信しにくい、できない状態



ビルの地下や窓のない所など



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



工事現場、空港の近く、交通量の多い所など



電化製品やOA機器の近く



金属製の棚、壁などの近く



レジスター、冷蔵庫などの近く

目次

注意

| | |
|--------------------|-----|
| ご使用上の注意 | 1~3 |
| ◆ご使用される前に必ずお読みください | |

操作編

| | |
|---|------|
| ① ER-240S/ER-250Sの特長 | 5、6 |
| ◆本機の特長となる仕様、付属品について | |
| ② 各部の名称とはたらき | 7、8 |
| ◆各部のはたらき、操作ボタンの説明について | |
| ③ 毎日の使い方 | 9~13 |
| ◆設置方法、時計画面の表示、電波時計の使い方、電波時計を使ってみましょう、毎日の操作方法、タイムカードの印字例 | |

設定編

| | |
|--|-------|
| ④ 設定の仕方 | 14~30 |
| 4-1 現在時刻の設定 | 14 |
| 4-2 チャイムの設定 | 15 |
| 4-3 出力接続時間の設定 | 16 |
| 4-4 締日の設定 ◆20日締以外のところに | 17 |
| 4-5 日付変更時刻の設定 ◆夜中の3時をまたいで勤務される方がいるところに | 18 |
| 4-6 西暦年月日の設定 | 19 |
| 4-7 集計あり/なしの設定 | 20、21 |
| 4-8 始業時刻の設定 ◆遅刻マークを印字させたいところに | 22 |
| 4-9 終業時刻の設定 ◆早退マークを印字させたいところに | 23 |
| 4-10 早出終了時刻の設定 ◆早出マークを印字させたいところに | 24 |
| 4-11 残業開始時刻の設定 ◆残業マークを印字させたいところに | 25 |
| 4-12 優先順位の設定 | 26 |
| 4-13 集計項目の設定 | 27 |
| 4-14 集計丸めの設定 | 28 |
| 4-15 パスワードの設定 | 29 |
| 4-16 受信回数の設定 | 30 |

ご使用中に

| | |
|------------------------------|-------|
| ⑤ 外部時報の接続 | 31 |
| ⑥ メンテナンス | 32、33 |
| 6-1 リポート印刷 | 32 |
| 6-2 データクリア | 33 |
| 6-3 本体のリセット | 33 |
| 6-4 パスワードを忘れたとき | 33 |
| ⑦ インクリボンの交換方法 | 34、35 |
| ⑧ こんなときは | 36 |
| ◆トラブルの症状とその対処方法について | |
| ⑨ メッセージおよびエラー一覧 | 36、37 |
| ◆メッセージ表示、エラー表示の意味について | |
| ⑩ 商品仕様 | 38 |
| ◆商品仕様、消耗品について | |
| ⑪ 保証書とアフターサービス | 38 |
| ◆保証内容、アフターサービスについて | |
| マックス拠点一覧 | 背表紙 |

① ER-240S/ER-250Sの特長

特長

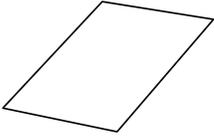
- ①西暦年、月、日、時刻は設定済ですので、電源を入れるだけですぐご使用いただけます。
出荷時に締日は20日に設定されております。20日締め以外のお客様は締日の設定が必要です。
- ②設置方法が次の3つから選べます  P.9 設置方法
- 置いて使用 → そのままお使いください。
 - 壁に掛けて使用 → ワンタッチで壁に掛けられます。
 - 寝かせて使用 →  ボタンを押すと時計表示が逆さまになり、寝かせて使う時にも時計が読めるようになります。
- ③タイムカードを入れるだけで、毎日のご使用はボタン操作の必要がないタイムレコーダです。  P.13 毎日の使い方
- 印字する段や印字欄は自動的に選択されます。
 - 出勤など打ち忘れて退勤するときはボタン操作で印字欄を指定できます。
- ④次のような勤務についても打刻ができます。  P.7 各部の名称とはたらき
- 早出 → 早出勤務のとき、時刻の横に「ハ」と印字します。
 - 残業 → 残業勤務のとき、時刻の横に「ザ」と印字します。
 - 直行 → 直行して出勤の打刻ができなかったとき、 ボタンを押すと出勤欄（1欄目）に「チョッコウ」と印字します。
 - 直帰 → 直帰して退勤の打刻ができないとき、 ボタンを押すと退勤欄（6欄目）に「チョッキ」と印字します。
 - 徹夜 → 日付変更時刻を越えて退勤するとき、 ボタンを押すと、出勤と同じ段に時刻の横に「テ」と印字します。
- ⑤始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク（チ）・早退マーク（ソ）が自動的に印字されます。  P.22、23 設定の仕方
- ⑥設定により、4欄印字または6欄印字を選択できます。4欄印字を選択した場合は所定内時間、早出時間、残業時間のいずれか一つを日毎に計算しタイムカードに印字します。
- 出荷時は「6欄印字」に設定されております。
 - 本機は月の累計は集計できません。  P.20 設定の仕方
- ⑦不意の停電や設定場所の移動によって電源が遮断された場合でも、内蔵のリチウム電池で工場出荷から停電累計5年間は日付、時計、設定内容などのデータを保持します。但し、停電時の印字はできません。
- ⑧遅刻・早退・直行・直帰は自動的に赤色で印字されます。（ER-250Sのみの機能となります。）
- ⑨内蔵チャイムにより、1日最大16回のチャイムの吹鳴ができます。（ER-250Sのみの機能となります。）  P.15 設定の仕方
- ⑩標準電波を利用して自動的に時刻を補正しますので、時刻の狂いがありません。（ER-250Sのみの機能となります。）  P.11、12 毎日の使い方

① ER-240S/ER-250Sの特長

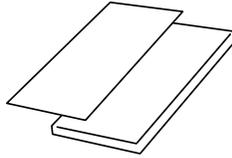
付属品

ご使用前に必ずお確かめください。

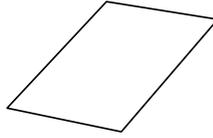
取扱説明書
(本書) 1冊



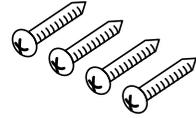
サンプルカード
(ER-Sカード) 20枚



お客様登録カード
(保証書) 1枚

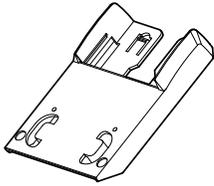


壁掛け用ネジ
(ナベタッピンネジ4X20)
4個



〈ER-250Sのみ〉

電波受信フレーム
1個



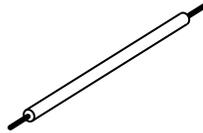
電波受信フレーム
取付け用ネジ
(タップタイト3X8)
2個



電波受信ユニット
壁掛け用ネジ
(ナベタッピンネジ4X20)
1個



外部時報接続用電線
1本



お願い

- お手数ですが、お客様登録カードに所定事項をご記入の上FAXにて送信するかハガキ部分をご投函ください。マックスお客様リストに登録し、アフターサービスに活用させていただきます。
- 操作がわからなくなった時には、本書をおよみいただけますよういつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

② 各部の名称とはたらき

フロントカバー

インクリボンの交換や設定するときにははずします。

カード挿入口

タイムカードを挿入します。

表示画面

通常は時刻、日付を表示しています。

出勤・外出・再入・退勤ボタン

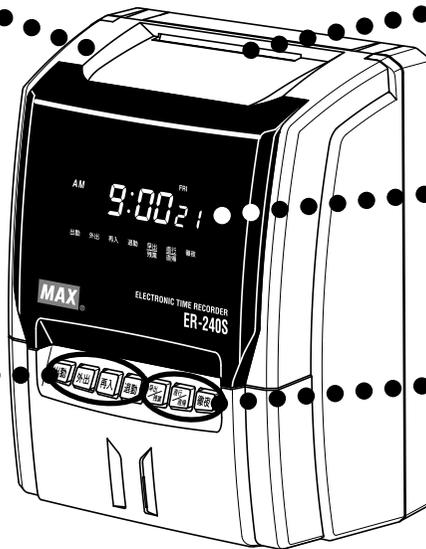
通常は押さなくても印字欄は自動で選択されます。

ボタンを押すとボタンが優先されます。

*但し過去に戻っては打てません。

早出/残業、直行/直帰、徹夜ボタン

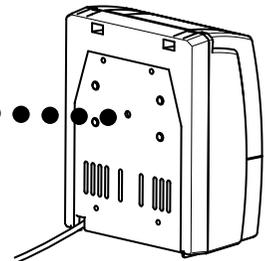
該当する勤務のときにこのボタンを押します。



壁掛け用フック

壁掛けで使用する時に取り外し、フックとして使います。

参照 P.9

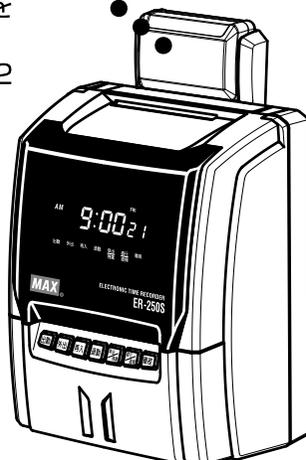


〈ER-250Sのみ〉

電波受信ユニット

自動的に標準電波を受信し時刻の補正をおこないます。

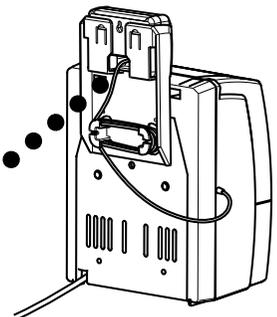
参照 P.10~12



電波受信フレーム

電波受信ユニットを本体に固定する場合に使用します。

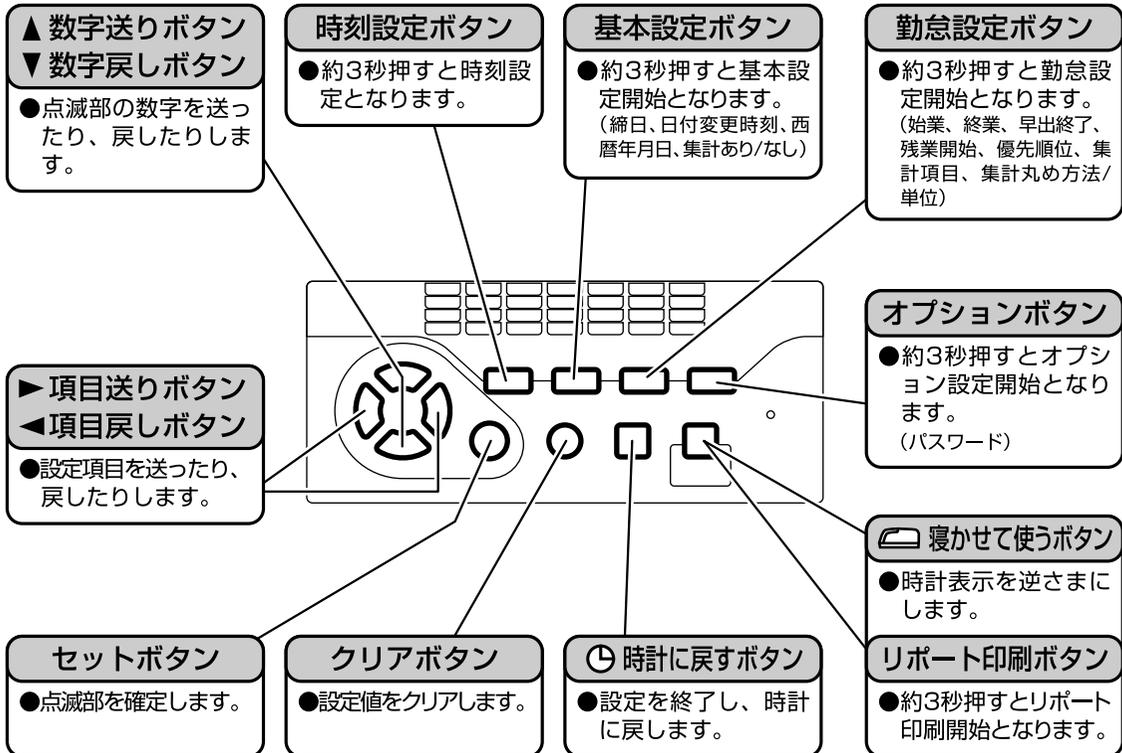
参照 P.10



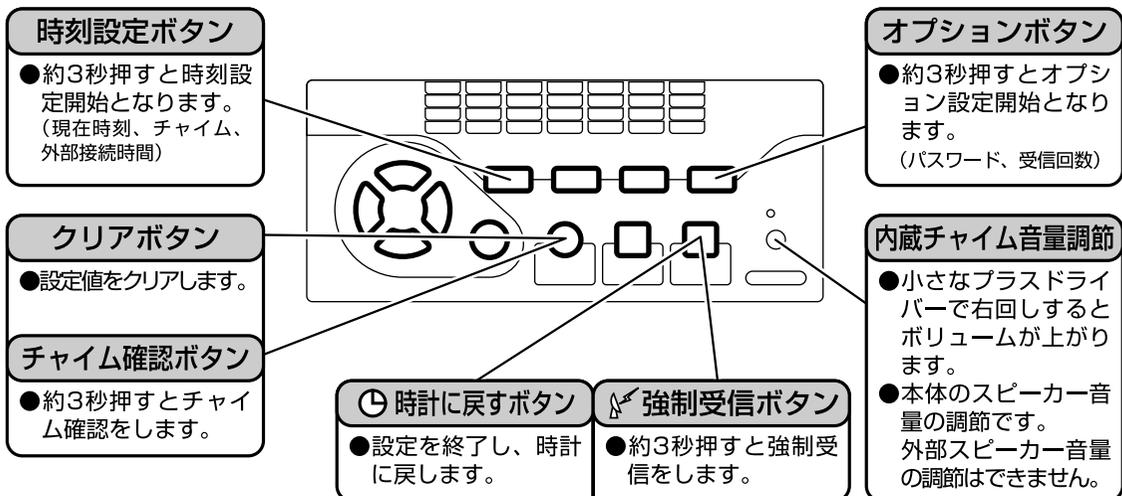
② 各部の名称とはたらき

操作ボタン

〈ER-240S、ER-250S共通〉



〈ER-250Sのみ〉



③ 毎日の使い方

設置方法

⚠ 注意

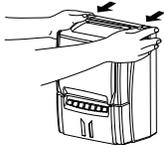
- **本機は必ず水平に設置してください。**ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
- **壁に掛けて使用するときは、本機の重さを十分支えられる壁にしっかりと固定してください。**
- **壁への取り付け作業を行う際には、必ず電源プラグを抜いてください。**本機が不意に動作した時、けがや故障の原因になります。

置いて使う場合

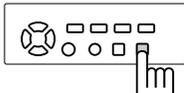
○そのまま使用になれます。

寝かせて使う場合

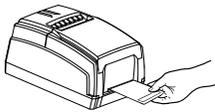
① フロントカバーをはずします。



② **寝かせて使う** ボタンを押します。

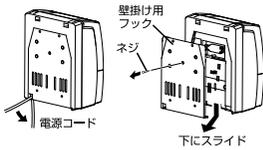


③ 表示が逆さまになり、手前側からカード挿入しても文字が読めます。

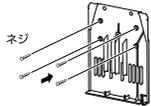


壁に掛けて使う場合

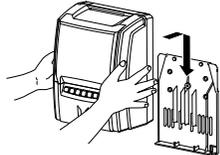
① 電源コードを本体底面方向にずらし、背面のネジを外し、「壁掛け用フック」を取り外します。



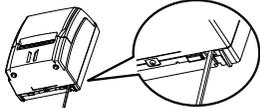
② 付属のネジ4個を使い、「壁掛け用フック」を壁掛けしたい位置に取り付けます。



③ 本体を「壁掛け用フック」にスライドさせながら取り付けます。



④ 電源コードがはさまらないよう、本体を「壁掛け用フック」にピッタリとセットしてください。



時計画面の表示

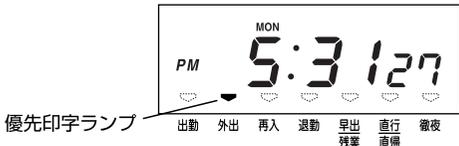
● 通常表示



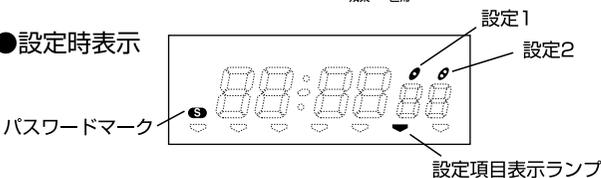
● **寝かせて使う** ボタンを押すと時計表示が逆さまになり、時計は24H表示になります。(曜日の表示はしません。)(もう一度押すともとに戻ります。)



● **出勤** **外出** **再入** **退勤** **早出** **直行** **徹夜** ボタン優先時



● 設定時表示



● 電波時計使用時の表示 <ER-250Sのみ>



時刻修正済み表示ランプ (過去6日間以内に電波による時刻補正が正常に行なわれた場合に点灯します)

③ 毎日の使い方

設置方法（電波時計受信ユニットの設置）〈ER-250Sのみ〉

⚠ 注意



- 電波受信ユニットを無理に引っぱらないでください。けがや故障の原因になります。
- 電波受信ユニットのケーブルの上に重たいものを絶対にのせないでください。ケーブルに傷が付いて、火災や感電の原因になります。



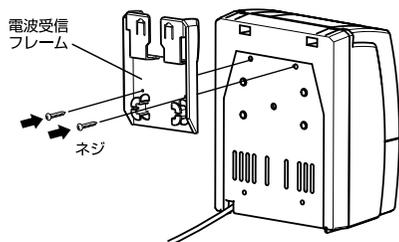
- タイムレコーダ本体に電波受信ユニットを取り付ける場合、付属のネジでホルダをしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因となります。
- タイムレコーダ本体に電波受信ユニットを取り付ける場合、ケーブルをフレーム背面に巻きつけてください。ケーブルのたるみは、落下、故障の原因となります。
- 電波受信ユニットを壁に掛けて使用するときは、付属のネジを使用し壁にしっかりと固定してください。落ちたりして、けがや故障の原因となります。

電波受信ユニットの設置

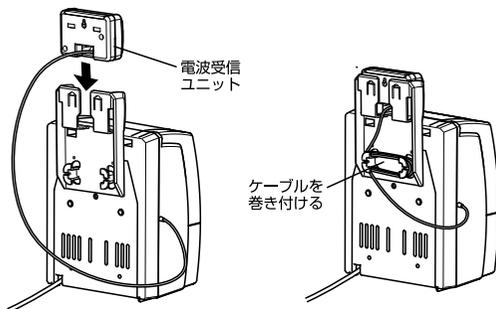
本体を寝かせ使用、壁掛け使用の場合は、本体に取り付けせず、単体で設置してください。

本体に固定する場合

- ①電波受信フレームを付属のネジで本体背面に取り付けます。

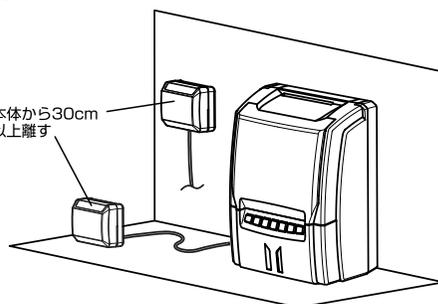


- ②電波受信ユニットをフレームに取り付けます。たるんだケーブルはフレームに巻き付けてください。



単体で設置する場合

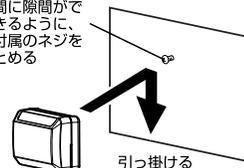
- 電波受信ユニットを設置したい場所に置か、付属のネジで壁に取り付けます。
- タイムレコーダ本体のすぐ近くに設置すると、電波の受信ができない場合がありますので、単体で設置する場合は30cm以上離して設置してください。



壁に取付ける場合



ネジ頭と壁の間に隙間ができるように、付属のネジをとめる



- 自動時刻補正は設定された日付変更時刻（初期設定AM3:00）の30分後に自動的に電波受信を開始し、それ以降30分ごとに設定した受信回数だけ電波受信をおこないます。この時間帯にタイムレコーダ本体の電源が入っていないと、電波受信を行えません。夜間にプレーカーを落としたりタイムレコーダの電源を抜いたりしてお使いになる場合は、自動時刻補正させたい日には電源を切らないでください。

③ 毎日の使い方

電波時計の使い方 (ER-250Sのみ)

- ER-250Sでは自動的に標準電波を受信し時刻の補正を行います。標準電波を受信できる環境でお使いの場合は、自動時刻補正されますので時刻の修正を行なう必要はありません。

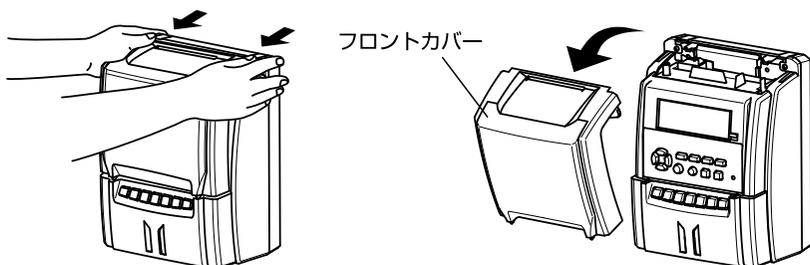
自動時刻補正

- ER-250Sでは設定した日付変更時刻（初期設定AM3：00）の30分後およびそれ以降30分ごとに設定した受信回数だけ自動的に電波を受信（自動受信）し、正常に受信できた場合にタイムレコーダの時刻補正をおこないます。

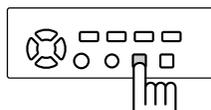
強制時刻補正

- ER-250Sでは、自動時刻補正のほか、強制的に電波を受信（強制受信）し、時刻補正を行なう事ができます。

①フロントカバーをはずします。倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



- ②[強制受信]ボタンを約3秒押し続けます。
→時計表示が **00 00** になり受信を開始します。
時刻補正動作は3～5分程度かかります。
(受信完了まで最大13分かかります。)



- 次の場合は時刻補正動作を中断または行ないません。

- ①時刻補正動作中にキー入力を行なった場合。
- ②時刻補正動作中にタイムカードを挿入した場合。
- ③設定操作中に自動時刻補正を行なう時刻になった時。
- ④タイムカードへの印字中に自動時刻補正を行なう時刻になった時。
- ⑤停電中に自動時刻補正を行なう時刻になった時、および時刻補正動作中に停電した時。

- 次の場合はタイムレコーダの日付と実際の日付が合わなくなります。

- ①午前0時前後で時刻補正の結果、日付をまたいで時刻が補正された場合。
例) タイムレコーダの時刻=0：00 → 補正後の時刻=(前日の) 23：59
(この場合、時刻は補正されますが日付は戻りません。)
このため、午前0時前後に自動時刻補正を行なうような日付変更時刻と受信回数の組み合わせ(日付変更時刻=23：00、受信回数=2回 など)は行なわないでください。

- 午前0時、日付変更時刻（初期設定AM3：00）、自動時刻補正を行なう時刻の前後30分は強制受信できません。

③ 毎日の使い方

電波時計を使ってみましょう (ER-250Sのみ)

強制受信して受信状況を確認してください

強制時刻補正開始 (前ページ参照)

受信完了まで最大13分かかります

受信完了

- 受信ができると正確な時刻が表示され、表示画面左上に⊙マークが点灯します。



正常に受信できました

- 現在のご使用環境で、自動受信が可能です。

エラー

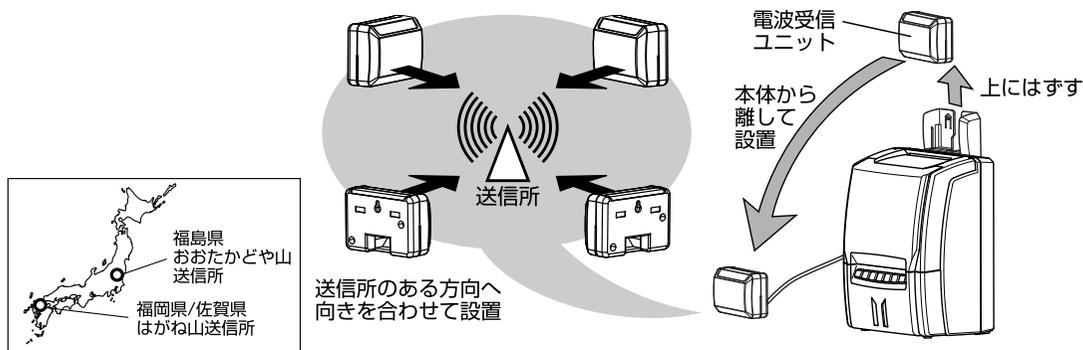
- 電波を受信できないとエラー表示 E-88 が表示されます。

E-88

次項の「受信できない時は」へ

受信できないときは

- 電波受信ユニットをはずして、タイムレコーダ本体から離れた状態のまま設置してください。送信所のある方向へ向きを合わせると受信しやすくなります。



- 電波受信ユニットをタイムレコーダ本体のすぐ近くやOA機器等の近くに設置すると、電波の受信ができず時刻補正ができない場合があります。タイムレコーダ本体、OA機器から30cm以上離して設置してください。

●もう一度、強制受信をしてください。 → 前ページ参照

- それでも受信ができない場合、そのままの状態深夜の自動受信を待ってください。自動受信は日付変更時刻 (初期設定AM3:00) の30分後およびそれ以降30分ごとに設定した受信回数だけ行います。
- 自動受信でも入らない場合は、窓のそば等、P.3を参考に設置場所を変えてください。また、土、日曜日などの休日は電波状態が良くなります。土、日に受信できる可能性もあります。

●電波時計が受信できない場合は、自動的に内部水晶式時計で動作します。

③ 毎日の使い方

毎日の操作方法

- 毎日の出勤、退勤（外出、再入）のときは、専用タイムカード「ER-Sカード」を挿入します。
- タイムカードを挿入するだけで日付、曜日、時刻が印字されます。印字欄は自動で選択されます。
- **出勤** **外出** **再入** **退勤** **早出** **直行** **徹夜** ボタンを押すと印字はボタン操作を優先します。
※但し過去に戻っては打てません。

毎日の操作方法

- 4欄印字設定時は日付、曜日、出勤1（出勤）、退勤1（外出）、出勤2（再入）、退勤2（退勤）の打刻を各1回ずつ印字します。6欄印字設定時は日付、曜日、出勤1（出勤）、退勤1（外出）、出勤2（再入）、2（外出）、出勤3（再入）、退勤3（退勤）の打刻を各1回ずつ印字します。
- 始業時刻、終業時刻を設定すると、遅刻マーク「チ」、早退マーク「ソ」を印字します。
- 早出終了時刻、残業開始時刻を設定すると、早出マーク「ハ」、残業マーク「ザ」を印字します。
- **徹夜** ボタンを押すと、徹夜マーク「テ」を印字します。
- **直行** ボタンを押すと、直行マーク「チョッコウ」、直帰マーク「チョッキ」を印字します。
- **寝かせて使う** ボタンを約3秒押し続けるとレポート印刷ができます。 **参照** P.32 メンテナンス

4欄印字設定時

| 氏名 | | Sカード | |
|-----|-------|---------|-------|
| 氏名 | | 前半 | |
| 所属 | | 年 月 NO. | |
| 日付 | 出 | 退 | 時間数 |
| 21日 | 7:52 | 12:05 | 17:10 |
| 22日 | 7:53 | | 9:00 |
| 23日 | チョッコウ | | 8:10 |
| 24日 | 6:52 | 12:02 | 19:35 |
| 25日 | 8:52 | 12:04 | 17:15 |

日付、早出マーク、時刻、出勤1、退勤1(外出)、出勤2(再入)、退勤2、所定内時間、残業マーク

6欄印字設定時

| 氏名 | | Sカード | | | | | |
|-----|-------|---------|-------|-------|-------|-------|------|
| 氏名 | | 前半 | | | | | |
| 所属 | | 年 月 NO. | | | | | |
| 日付 | 出 | 退 | 出 | 退 | 出 | 退 | 時間数 |
| 21日 | 7:52 | 12:05 | 12:56 | 15:02 | 15:10 | 17:10 | |
| 22日 | 7:53 | | | | | | 9:00 |
| 23日 | チョッコウ | | | | | | 8:10 |
| 24日 | 6:00 | 12:02 | 12:55 | 15:01 | 15:10 | 19:35 | テ |
| 25日 | 8:52 | 12:04 | 12:55 | | | 17:15 | |

遅刻マーク、早退マーク、出勤1、退勤1(外出)、出勤2(再入)、退勤2(外出)、出勤3(再入)、退勤3

※カードの前半、後半
 前半の一番上の欄には、締日の翌日（月始め）が印字されます。
 例：20日締の時は21日がカードの前半の一番上に印字されます。

4 設定の仕方

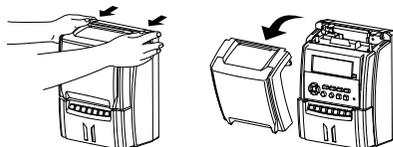
4-1 現在時刻の設定

時刻設定モード



- 工場出荷時に現在時刻は設定されていますので、改めて設定する必要はありません。
- 時刻は24H表示で入力します。

- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



- ② **時刻設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピッピッと音が3回鳴り、時刻設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピッピッと音が3回鳴り、時刻設定モードに入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ④ **▲数字送り** で時間の部分を合わせ、 **セット** で確定します。
⇒点滅部が「分」に移動します。



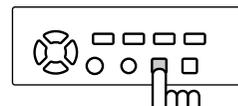
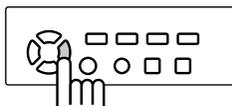
- ⑤ **▲数字送り** で分の部分を合わせ、 **セット** で確定します。
⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



- ⑥時計が歩針を始めます。
(この時 **セット** ボタンを押すと、再び00 秒から歩針します。)

これでこの項目の設定は終了です。

- ⑦ ●他の設定を続けて行いたいとき (ER-250Sのみ)
⇒ **▶項目送り** ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がないとき
⇒ **⌚時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑧フロントカバーを取り付けます。



- ⑥の時 **▲数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。

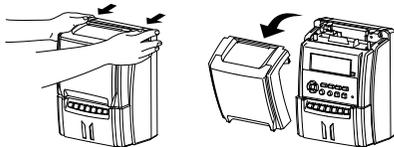
4 設定の仕方

4-2 チャイムの設定 (ER-250Sのみ) 時刻設定モード



- チャイムを鳴らす回数は最大16回まで設定できます。
- 設定する時刻ごとに鳴らす曜日を指定できます。

①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



② **時刻設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピッピッと音が3回鳴り、時刻設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



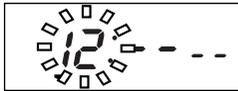
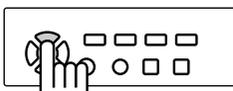
③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピッピッと音が3回鳴り、時刻設定モードに入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。



④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「チャイム」に合わせます。

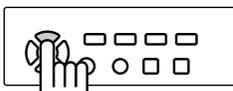
他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

⑤ **▲数字送り** で時間の部分を合わせ、 **セット** で確定します。



⇒点滅部が「分」に移動します。

⑥ **▲数字送り** で分の部分を合わせ、 **セット** で確定します。



⇒点滅部が「曲番号」に移動します。

⑦ **▲数字送り** で曲番号合わせ、 **セット** で確定します。



曲番号1：ウェストミンスター

曲番号2：ホイッティングトン

⇒点滅部が「曜日」に移動します。

⑧チャイムを鳴らさない曜日をボタンで選び、曜日表示を消し **セット** で確定します。



日：[出勤]ボタン 月：[外出]ボタン 火：[再入]ボタン 水：[退勤]ボタン

木：[早出/残業]ボタン 金：[直行/直帰]ボタン 土：[徹夜]ボタン

⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。

⑨ **項目送り** ボタンで次のチャイム時刻の設定にします。鳴らしたい回数だけ⑤～⑧の操作を繰り返します。

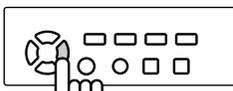
これでこの項目の設定は終了です。

⑩ ●他の設定を続けて行いたいとき (ER-250Sのみ)

⇒ **項目送り** ボタンで他の設定に移れます。

●他に設定がないとき

⇒ **時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



⑪フロントカバーを取り付けます。



●時計表示の時に **チャイム確認** ボタンを約3秒押し続けると「チャイムテスト」ができます。チャイムテストでチャイムの音量を調節してください。

●音量調節 (P.8) を小さなプラスドライバーで右回しするとボリュームが上がります。

●チャイム音量確認の曲は「ウェストミンスター」となります。

●試し鳴らしは連続できません。もう一度鳴らす場合は約30秒待ってから行ってください。

●⑤～⑧のとき **クリア** ボタンを押すと、設定のない状態に戻ります。

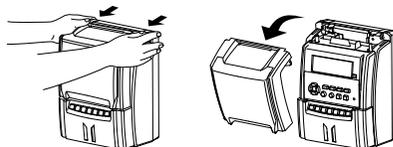
4 設定の仕方

4-3 出力接続時間の設定 (ER-250Sのみ) 時刻設定モード



- 外部接続するチャイム機器への接点（または電源）の出力接続時間を設定します。
- 接続時間は1～60秒の範囲で設定できます。「初期設定は5秒です。」

- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



- ② **時刻設定** ボタンを約3秒間押し続けます。

⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。

パスワードが設定されていない時はピッピッピと音が3回鳴り、時刻設定モードに入ります。

(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)

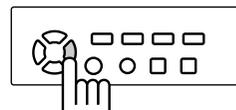


- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。

⇒ピッピッピと音が3回鳴り、時刻設定モードに入ります。

この時、画面右上に  マークが点灯します。

- ④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「接続時間」に合わせます。

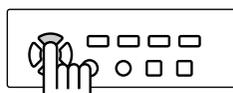


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ⑤ **▲数字送り** で接続時間（秒）を合わせ、 **セット**

で確定します。

⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



[bELL] =ベル

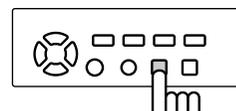
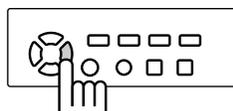
これでこの項目の設定は終了です。

- ⑥ ●他の設定を続けて行いたいとき (ER-250Sのみ)

⇒ **▶項目送り** ボタンで他の設定に移れます。

●他に設定がないとき

⇒ **⌚時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑦フロントカバーを取り付けます。



- ⑤のとき **クリア** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

4 設定の仕方

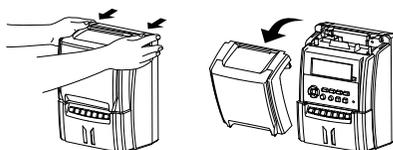
4-4 締日の設定

基本設定モード



- 「初期設定は20日締です。」締日が違う場合に変更してください。
- 月末締めの場合は「31」とセットします。
- 「30」の設定（30日締）はできません。

- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



- ② **基本設定** ボタンを約3秒間押し続けます。

⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。

パスワードが設定されていない時はピッピピと音が3回鳴り、基本設定モードに入ります。

(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。

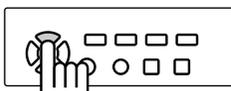
⇒ピッピピと音が3回鳴り、基本設定モードに入ります。

この時、画面右上に マークが点灯します。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ④ **▲数字送り** 「締日」を合わせ、 **セット** で確定します。

⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



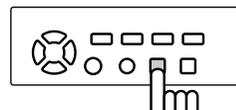
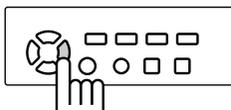
これでこの項目の設定は終了です。

- ⑤ ●他の設定を続けて行いたいとき

⇒ **▶項目送り** ボタンで他の設定に移れます。

●他に設定がないとき

⇒ **⌚時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑥フロントカバーを取り付けます。



- ④のとき **クリア** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。



- 使用中に設定を変更しようとするには今までのデータを削除しなければなりません。設定変更時に画面が、dAtA (データ) →CLEAR (クリア) という表示となり、今までのデータをクリアしても問題ないのであれば **セット** を押し、新しい設定をセットしてください。キャンセルするときは **⌚時計に戻す** で時計に戻ってください。

dAtA

dAtA (データ)



CLEAR

CLEAR (クリア)

4 設定の仕方

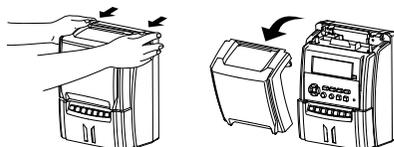
4-5 日付変更時刻の設定

基本設定モード



- ここで設定された時刻はタイムレコーダ上の日付が変わる時刻です。(印字の行を変える時刻)
この時刻をまたいで働くと退勤が出勤より1行下に出勤として印字されてしまいます。
- 「初期設定は夜中の3時です。」この時刻をまたいで働かれる方がいないところでは、設定を変える必要はありません。
- 24時間営業のところなどで、日付変更時刻をまたいで働かれる方が退勤字に **徹夜** ボタンを押して打刻すると、出勤と同じ行に退勤が打刻されます。

- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



- ② **基本設定** ボタンを約3秒間押し続けます。

⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。

パスワードが設定されていない時はピッピピと音が3回鳴り、基本設定モードに入ります。

(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



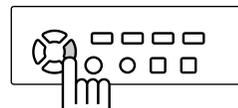
- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。

⇒ピッピピと音が3回鳴り、基本設定モードに入ります。

この時、画面右上に マークが点灯します。

- ④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「日付変更」に合わせます。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。



- ⑤ **数字送り** で日付変更時刻を合わせ、 **セット** で

確定します。

⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



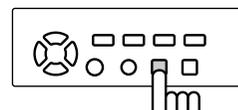
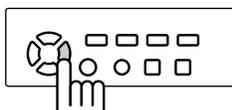
これでこの項目の設定は終了です。

- ⑥ ●他の設定を続けて行いたいとき

⇒ **項目送り** ボタンで他の設定に移れます。

●他に設定がないとき

⇒ **時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑦フロントカバーを取り付けます。



- ⑤のとき **クリア** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。



- 使用中に設定を変更しようとするには今までのデータを削除しなければなりません。設定変更時に画面が、dAtA (データ) →CLEAR (クリア) という表示となり、今までのデータをクリアしても問題ないのであれば **セット** を押し、新しい設定をセットしてください。キャンセルするときは **時計に戻す** で時計に戻ってください。



dAtA (データ)



CLEAR (クリア)

4 設定の仕方

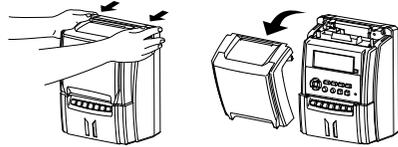
4-6 西暦年月日の設定

基本設定モード



●工場出荷時に西暦年、月、日は設定されていますので、改めて設定する必要はありません。

- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

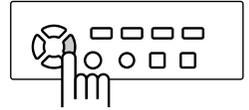


- ② **基本設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピッピピと音が3回鳴り、基本設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピッピピと音が3回鳴り、基本設定モードに入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。

- ④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「年月日」に合わせます。



他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ⑤ **▲数字送り** で年の部分を合わせ、 **セット** で確定します。(西暦の下2ケタを入力してください)
⇒点滅部が「月」に移動されます。



- ⑥ **▲数字送り** で月の部分を合わせ、 **セット** で確定します。
⇒点滅部が「日」に移動されます。

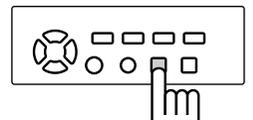
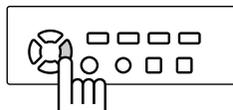


- ⑦ **▲数字送り** で日の部分を合わせ、 **セット** します。
⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



これでこの項目の設定は終了です。

- ⑧ ●他の設定を続けて行いたいとき
⇒ **▶項目送り** ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がないとき
⇒ **⌚時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑨フロントカバーを取り付けます。



4 設定の仕方

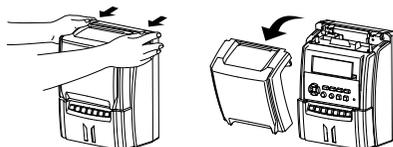
4-7 集計あり/なしの設定

基本設定モード



- 日毎の時間集計を「あり」に設定すると4欄印字になり5欄目に集計結果を印字します。日毎の時間集計を「なし」に設定すると6欄印字になります。
- 「初期設定は集計なしです。」
- 本機は月の累計集計はできません。

- ① フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



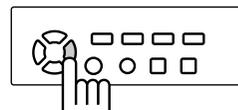
- ② **基本設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピッピピと音が3回鳴り、基本設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



- ③ パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピッピピと音が3回鳴り、基本設定モードに入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。

- ④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「集計」に合わせます。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。



- ⑤ **数字送り** で集計あり/なしを合わせ、 **セット** で確定します。

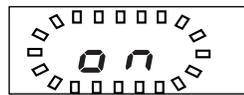
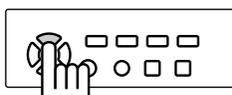


「on」=オン

⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



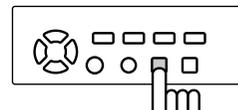
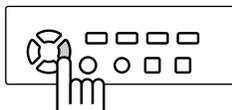
「oFF」=オフ



「on」=オン

これでこの項目の設定は終了です。

- ⑥ ●他の設定を続けて行いたいとき
⇒ **項目送り** ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がないとき
⇒ **時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑦ フロントカバーを取り付けます。



- ⑤のとき **クリア** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。



- 使用中に設定を変更しようとするには今までのデータを削除しなければなりません。設定変更時に画面が、dAtA (データ) →CLEAR (クリア) という表示となり、今までのデータをクリアしても問題ないのであれば **セット** を押し、新しい設定をセットしてください。キャンセルするときは **時計に戻す** で時計に戻ってください。



dAtA (データ)



CLEAR (クリア)

4 設定の仕方

4-7 集計あり/なしの設定 (つづき)

基本設定モード



集計結果の印字タイミングについて

- 時間集計の集計結果は通常の打刻と同時に印字します。
- 1日の中の出勤、外出、再入、退勤の打刻の組み合わせによっては、集計結果を印字しない場合があります。集計結果を印字する組み合わせは次の表の通りです。(それ以外の打刻の組み合わせの場合、集計結果は印字しません。)

打刻の組み合わせと集計結果の印字タイミング

| 出勤 | 外出 | 再入 | 退勤 | 集計結果 |
|------|------|------|------|----------------------|
| 打刻あり | 打刻あり | — | — | 翌日以降の最初の打刻と同時に、印字します |
| 打刻あり | — | — | 打刻あり | 退勤打刻と同時に印字します |
| — | — | 打刻あり | 打刻あり | 退勤打刻と同時に印字します |
| 打刻あり | 打刻あり | 打刻あり | 打刻あり | 退勤打刻と同時に印字します |

打刻あり：その欄に打刻している —：その欄に打刻していない

- 出勤と外出の2回だけ打刻した時点では集計結果を印字しません。再入と退勤の打刻をした時点で集計結果を印字します。
- 出勤と外出の2回だけ打刻してその日の打刻が終わった場合、その日の集計結果は翌日以降の最初の打刻と同時に印字します。(翌日以降の最初に打刻したカード面と前回の集計結果を印字するカード面が異なる場合、画面に [FACE] と表示します。[FACE] 表示がでたら同じタイムカードを裏返してタイムレコーダに挿入してください。)
- 先月度のタイムカードで最後に打刻した日が出勤と外出の2回だけ打刻して終わっている場合、次の手順で先月度のタイムカードに集計結果を印字できます。
 - ① 先月度のタイムカードをタイムレコーダに挿入してタイムカードを認識させます。(タイムカードは今月度のタイムカードに打刻する時と同じ向きで挿入します。)
 - ② 集計結果を印字するカード面の向きとタイムカードを挿入した向きが同じ場合、同時に集計結果を印字します。
 - ③ 集計結果を印字するカード面の向きがタイムカードを挿入した向きと異なる場合、画面に [FACE] と表示します。タイムカードを裏返してタイムレコーダに挿入すると集計結果を印字します。
- タイムレコーダを1日2回の打刻で使用して(2欄印字)その日のうちに集計結果を印字する場合は、2回目の打刻の時に **退勤** ボタンを押して打刻してください。



FACE

表示について

- 次の場合は画面に [FACE] と表示します。[FACE] 表示がでたら同じタイムカードを裏返してタイムレコーダに挿入してください。集計結果を印字します。
 - ① タイムカード前半の最後に打刻した日が出勤と外出の2回だけ打刻して終わっているカードで、初めてタイムカード後半に打刻したとき。
 - ② 先月度のタイムカードに集計結果を印字するためにタイムレコーダに挿入して認識させた時に、集計結果を印字するカード面の向きとタイムカードを挿入した向きが異なるとき。

4 設定の仕方

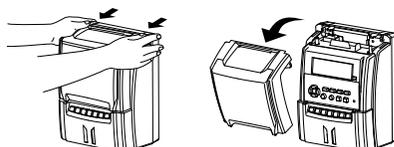
4-8 始業時刻の設定

勤怠設定モード

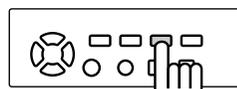


- ここを設定すると設定された時刻より後の出勤は遅刻と判断され、時刻の後に遅刻マーク「チ」を同時に印字します。
(設定時刻と同時の出勤は、遅刻マークの印字はしません。)
- 遅刻印字は赤で印字されます。(ER-250Sのみ)
- 勤怠設定の時刻の順序は「早出終了時刻」 ≤ 「始業時刻」 < 「終業時刻」 ≤ 「残業開始時刻」となるように設定してください。

- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



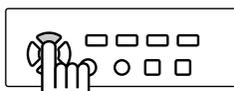
- ② **勤怠設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ④ **▲数字送り** で「時間」の部分を合わせ、 **セット** で確定します。
⇒点滅部が「分」に移動されます。

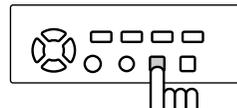
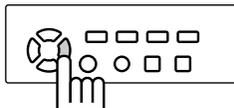


- ⑤ **▲数字送り** で「分」の部分を合わせ、 **セット** で確定します。
⇒ピピピと音が2回鳴り、設定されます。



これでこの項目の設定は終了です。

- ⑥ ●他の設定を続けて行いたいとき
⇒ **▶項目送り** ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がないとき
⇒ **⌚時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑦フロントカバーを取り付けます。



- ⑤の時 **▲数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。
- ④、⑤のとき **クリア** ボタンを押すと、設定のない状態に戻ります。

4 設定の仕方

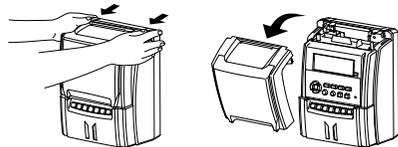
4-9 終業時刻の設定

勤怠設定モード



- ここを設定すると設定された時刻より前の退勤は早退と判断され、時刻の後に早退マーク「ソ」を同時に印字します。
(設定時刻と同時の退勤は、早退マークの印字はしません。)
- 早退印字は赤で印字されます。(ER-250Sのみ)
- 勤怠設定の時刻の順序は「早出終了時刻」≤「始業時刻」<「終業時刻」≤「残業開始時刻」となるように設定してください。

- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。

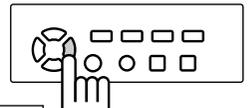


- ② **勤怠設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



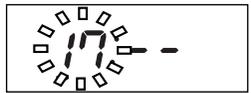
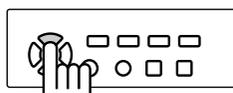
- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
この時、画面右上に マークが点灯します。

- ④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「終業時刻」に合わせます。

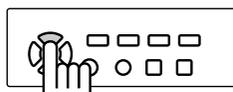


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ⑤ **数字送り** で「時間」の部分に合わせて、 **セット** で確定します。
⇒点滅部が「分」に移動されます。

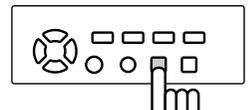
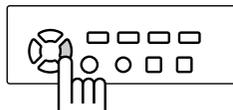


- ⑥ **数字送り** で「分」の部分に合わせて、 **セット** で確定します。
⇒ピピピと音が2回鳴り、設定されます。



これでこの項目の設定は終了です。

- ⑦ ●他の設定を続けて行いたいとき
⇒ **項目送り** ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がないとき
⇒ **時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑧フロントカバーを取り付けます。



- ⑥の時 **数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。
- ⑤、⑥のとき **クリア** ボタンを押すと、設定のない状態に戻ります。

4 設定の仕方

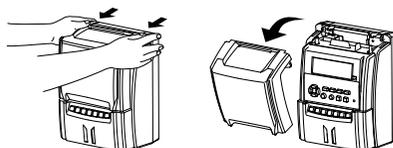
4-10 早出終了時刻の設定

勤怠設定モード

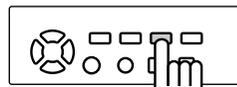


- ここを設定すると設定された時刻より前の出勤は早出と判断され、時刻の後に早出マーク「ハ」を同時に印字します。
(設定時刻と同時の出勤は、早出マークの印字はしません。)
- 早出終了時刻の設定をして、なおかつ優先順位設定で「手動優先」に設定すると、 ボタンを押したときだけ早出マークを印字することができます。
 P.26 優先順位の設定
- 勤怠設定の時刻の順序は「早出終了時刻」 ≤ 「始業時刻」 < 「終業時刻」 ≤ 「残業開始時刻」となるように設定してください。

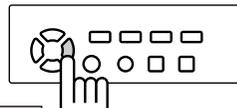
- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



- ② **勤怠設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



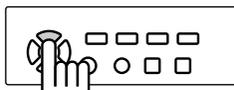
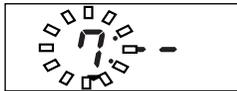
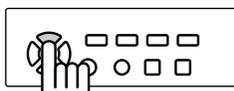
- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。



- ④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「早出時刻」に合わせます。

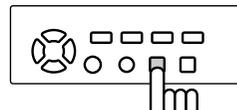
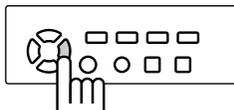
他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ⑤ **▲数字送り** で「時間」の部分に合わせて、 **セット** で確定します。
⇒点滅部が「分」に移動されます。
- ⑥ **▲数字送り** で「分」の部分に合わせて、 **セット** で確定します。
⇒ピピと音が2回鳴り、設定されます。



これでこの項目の設定は終了です。

- ⑦ ●他の設定を続けて行いたいとき
⇒ **▶項目送り** ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がないとき
⇒ **⌚時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑧フロントカバーを取り付けます。



- ⑥の時 **▲数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。
- ⑤、⑥のとき **クリア** ボタンを押すと、設定のない状態に戻ります。

4 設定の仕方

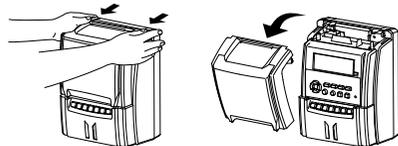
4-11 残業開始時刻の設定

勤怠設定モード



- ここを設定すると設定された時刻より後の退勤は残業と判断され、時刻の後に残業マーク「ザ」を同時に印字します。
(設定時刻と同時の退勤は、残業マークの印字はしません。)
- 残業開始時刻の設定をして、なおかつ優先順位設定で「ボタン優先」に設定すると、 ボタンを押したときだけ残業マークを印字することができます。
 P.26 優先順位の設定
- 勤怠設定の時刻の順序は「早出終了時刻」 ≤ 「始業時刻」 < 「終業時刻」 ≤ 「残業開始時刻」となるように設定してください。

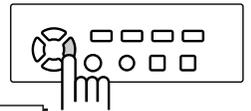
- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



- ② **勤怠設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



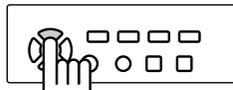
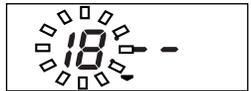
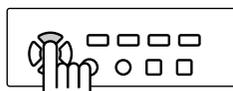
- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。



- ④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「残業時刻」に合わせます。

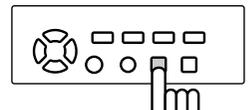
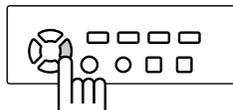
他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ⑤ **数字送り** で「時間」の部分に合わせて、 **セット** で確定します。
⇒点滅部が「分」に移動されます。
- ⑥ **数字送り** で「分」の部分に合わせて、 **セット** で確定します。
⇒ピピと音が2回鳴り、設定されます。



これでこの項目の設定は終了です。

- ⑦ ●他の設定を続けて行いたいとき
⇒ **項目送り** ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がないとき
⇒ **時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑧フロントカバーを取り付けます。



- ⑥の時 **数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。
- ⑤、⑥のとき **クリア** ボタンを押すと、設定のない状態に戻ります。

4 設定の仕方

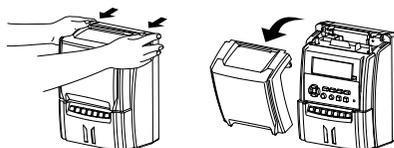
4-12 優先順位の設定

勤怠設定モード

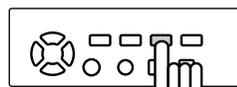


- 早出マーク「ハ」と残業マーク「ザ」を自動的に印字するか、ボタンを押したときだけ印字するかを選択します。
- 「自動」に設定した場合、早出終了時刻以前の出勤および残業開始時刻以降の退勤は自動的に早出または残業と判断し、マークを印字するとともに計算に反映します。
- 「手動」に設定した場合、早出終了時刻以前の出勤および残業開始時刻以降の退勤で  ボタンを押したときのみマークを印字するとともに計算に反映します。ただし、それぞれの時刻設定が無いとボタンは無効となります。
- 「初期設定は自動です。」

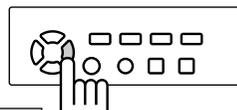
- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



- ② **勤怠設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
この時、画面右上に  マークが点灯します。

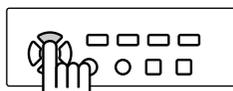


- ④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「優先順位」に合わせます。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ⑤ **数字送り** で「優先順位」の部分を合わせ、 **セット** で確定します。

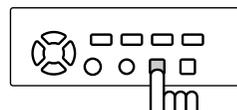
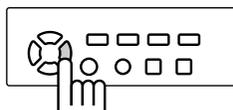
 **J l d o** : 自動  **S H U d o** : 手動
「Jl do」=自動 「SHUdo」=手動



⇒ピピピと音が2回鳴り、設定されます。

これでこの項目の設定は終了です。

- ⑥ ●他の設定を続けて行いたいとき
⇒ **項目送り** ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がないとき
⇒ **時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑦フロントカバーを取り付けます。



- ⑤の時 **数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。
- ⑤のとき **クリア** ボタンを押すと、設定のない状態に戻ります。

4 設定の仕方

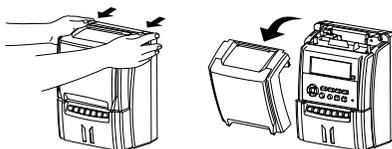
4-13 集計項目の設定

勤怠設定モード

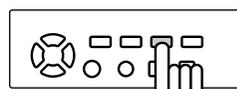


- 「集計あり/なし」設定で「集計あり」に設定した場合の集計項目を設定します。
- 集計項目は所定内時間、早出時間および残業時間のうち1つを選択できます。
- 選択した集計項目に応じて、集計結果の横に「ショ」（所定内）、「ハ」（早出）または「ザ」（残業）と印字します。
- 「集計あり/なし」設定で「集計なし」に設定した場合はこの設定は無効になります。

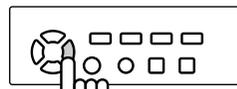
① フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



② **勤怠設定** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



③ パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。
この時、画面右上に マークが点灯します。



④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「集計項目」に合わせます。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

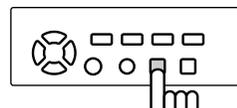
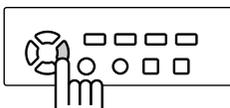
⑤ **▲数字送り** で「集計項目」の部分を合わせ、 **セット** で確定します。



SH o t E I : 所定内時間 **HA YA d E** : 早出時間 **2A n 9 y o** : 残業時間
「SHotEI」=所定 (初期設定) 「HAYAdE」=早出 「ZAngyo」=残業
 ⇒ピピピと音が2回鳴り、設定されます。

これでこの項目の設定は終了です。

⑥ ●他の設定を続けて行いたいとき
⇒ **▶項目送り** ボタンで他の設定に移れます。
●他に設定がないとき
⇒ **⌚時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



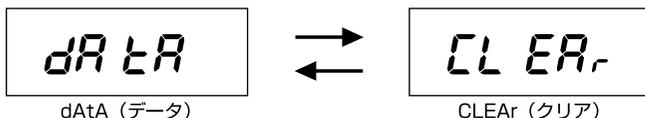
⑦ フロントカバーを取り付けます。



- ⑤の時 **▲数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。
- ⑤のとき **クリア** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。



●使用中に設定を変更しようとするには今までのデータを削除しなければなりません。
設定変更時に画面が、dAtA (データ) → CL EA r (クリア) という表示となり、今までのデータをクリアしても問題ないのであれば **セット** を押し、新しい設定をセットしてください。キャンセルするときは **⌚時計に戻す** で時計に戻ってください。



4 設定の仕方

4-14 集計丸めの設定

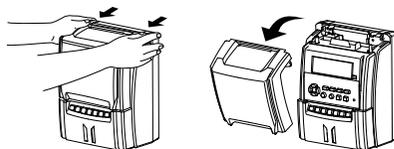
勤怠設定モード



- 集計時間の丸め方法と丸め単位を設定します。
- 「打刻時刻丸め」を選択した場合、タイムカードに打刻した時刻を設定単位で丸めた後に時間計算します。(タイムカードの印字は丸めません。)
「時間丸め」を選択した場合、タイムカードに打刻した時刻をそのまま計算して、計算結果を設定単位で丸めます。
- 丸め単位は「1分」「5分」「10分」「15分」「20分」「30分」「60分」から選択します。
- 「初期設定は時刻丸め(1分単位)です。」

①フロントカバーをはずします。

倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。

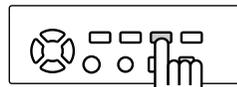


② **勤怠設定** ボタンを約3秒間押し続けます。

⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。

パスワードが設定されていない時はピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。

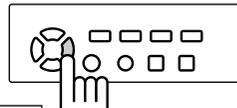
(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)



③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。

⇒ピピピピと音が3回鳴り、勤怠設定モードに入ります。

この時、画面右上に  マークが点灯します。

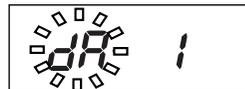


④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「集計丸め」に合わせます。

他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

⑤ **数字送り** で「丸め方法」の部分に合わせて、 **セット**

で確定します。



 : 打刻時刻丸め  : 時間丸め

⇒点滅部が「丸め単位」に移動されます。

⑥ **数字送り** で「分」の部分に合わせて、 **セット** で

確定します。

⇒ピピピと音が2回鳴り、設定されます。



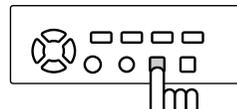
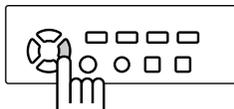
これでこの項目の設定は終了です。

⑦ ●他の設定を続けて行いたいとき

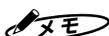
⇒ **項目送り** ボタンで他の設定に移れます。

●他に設定がないとき

⇒ **時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



⑧フロントカバーを取り付けます。



- ⑤の時 **数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。
- ⑤、⑥のとき **クリア** ボタンを押すと、設定のない状態に戻ります。

4 設定の仕方

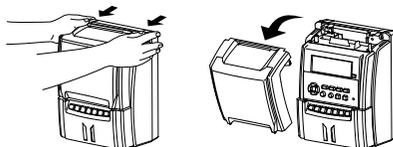
4-15 パスワードの設定

オプション設定モード

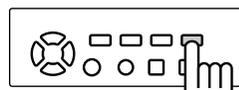


- パスワードを設定すると設定モードに入るときにパスワード無しでは入れなくなります。
- パスワードは4桁の数字で「0000」～「9999」の範囲で設定できます。

- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。



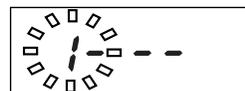
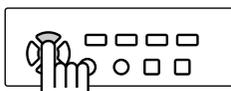
- ② **オプション** ボタンを約3秒間押し続けます。
⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。
パスワードが設定されていない時はピッピピと音が3回鳴り、設定モードに入ります。



- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。
⇒ピッピピと音が3回鳴り、オプション設定モードに入ります。
この時、画面右上に マークが点灯します。

- ④ **▲数字送り** で「1桁目の数字」の部分を合わせ、
セット で確定します。

⇒点滅部が「2桁目の数字」に移動されます。



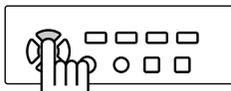
- ⑤ **▲数字送り** で「2桁目の数字」の部分を合わせ、
セット で確定します。

⇒点滅部が「3桁目の数字」に移動されます。オプション



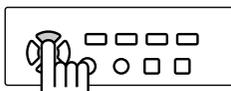
- ⑥ **▲数字送り** で「3桁目の数字」の部分を合わせ、
セット で確定します。

⇒点滅部が「4桁目の数字」に移動されます。



- ⑦ **▲数字送り** で「4桁目の数字」の部分を合わせ、
セット で確定します。

⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



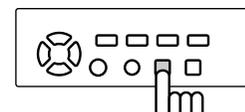
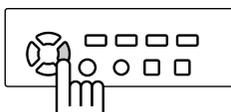
これでこの項目の設定は終了です。

- ⑧ ●他の設定を続けて行いたいとき (ER-250Sのみ)

⇒ **▶項目送り** ボタンで他の設定に移れます。

●他に設定がないとき

⇒ **⌚時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑨フロントカバーを取り付けます。



- ⑦の時 **▲数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。
- 各設定モードでのパスワード入力方法は④～⑦の操作と同じです。
- パスワードを設定すると時計表示の時、画面に **S** マークを表示します。
- ④～⑦の時 **クリア** ボタンを押すと、設定のない状態に戻ります。



- パスワードを忘れた、パスワードを消したい場合はP.33を参照してください。

4 設定の仕方

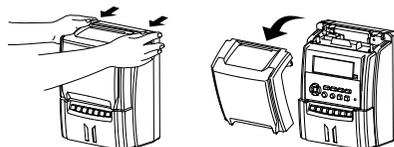
4-16 受信回数の設定 (ER-250Sのみ)

オプション設定モード



- ここで設定された回数だけ電波時計の自動受信を行います。自動受信は日付変更時刻の30分後から30分おきに設定回数行います。
- 受信回数は「1回」～「5回」の範囲で設定できます。
- 「初期設定は1回です。」

- ①フロントカバーをはずします。
倒れないよう、本体をおさえながら行なってください。

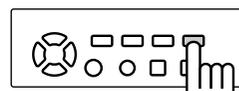


- ② **オプション** ボタンを約3秒間押し続けます。

⇒ピッと音が1回鳴り、パスワード入力画面になります。

パスワードが設定されていない時はピッピピと音が3回鳴り、オプション設定モードに入ります。

(パスワードの設定方法は「P.29 4-15 パスワードの設定」を参照してください。)

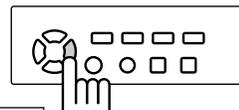


- ③パスワードを設定している時は、パスワードを入力して **セット** で確定します。

⇒ピッピピと音が3回鳴り、オプション設定モードに入ります。

この時、画面右上に マークが点灯します。

- ④ **項目送り** ボタンでオレンジのランプを項目の「受信回数」に合わせます。

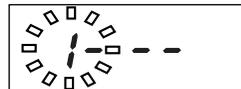
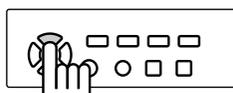


他の設定から移ってきた時は、ここから開始です。

- ⑤ **数字送り** で「受信回数」の部分に合わせて、 **セット**

で確定します。

⇒ピッピと音が2回鳴り、設定されます。



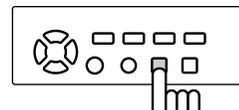
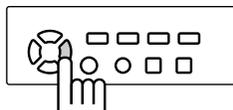
これでこの項目の設定は終了です。

- ⑥ ●他の設定を続けて行いたいとき (ER-250Sのみ)

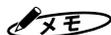
⇒ **項目送り** ボタンで他の設定に移れます。

●他に設定がないとき

⇒ **時計に戻す** ボタンで時計に戻ります。



- ⑦フロントカバーを取り付けます。



- ⑤の時 **数字送り** ボタンを押すと、再設定ができます。
- 時計表示の時に **強制受信** ボタンを約3秒押し続けると「強制時刻補正」ができます。
- ⑤の時 **クリア** ボタンを押すと、初期設定に戻ります。

5 外部時報の接続 〈ER-250Sのみ〉

警告



●外部時報を接続するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。本機が不意に動作した時、けがや故障、感電の原因になります。



●外部時報接続には付属の電線および適用電線以外は使用しないでください。電線が発熱や破損し、火災、感電の原因になります。

●外部時報接続部の定格を越える機器を接続しないでください。火災の原因になります。

●外部時報接続部には外部時報機器以外の機器を接続しないでください。火災や故障の原因になります。

接続方法

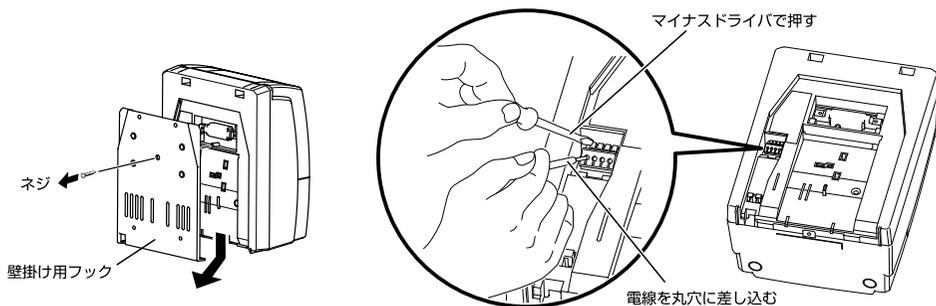


●スピーカーには直接つなげません。

●アンプにつないで、タイムレコーダのチャイム音を増幅することはできません。

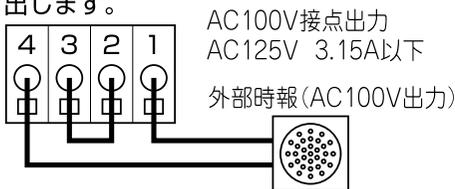
①外部時報接続機能は、使用するベルやチャイムによって接続が異なります。鳴らすベルやチャイムの種類を調べます。

②電源コードを本体底面方向にずらし、背面のネジを外し、「壁掛け用フック」を取り外します。マイナスドライバーを使って図の様に接続部に電線を接続します。



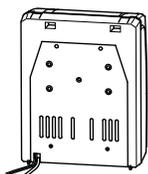
チャイム自体が電源を持っておらず、100Vの電源が必要なとき

●コネクタの2、3ピンを付属の「外部時報接続用電線」で接続し、1、4ピンから100Vの電源を取り出します。



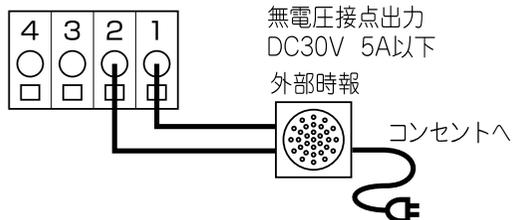
●設定した時刻になると、設定した秒数（初期値：5秒間）だけ端子の1、4ピンに100Vが出力されます。

③外部時報の電線を「壁掛け用フック」の取り出し口から出し、背面のネジを止めます。



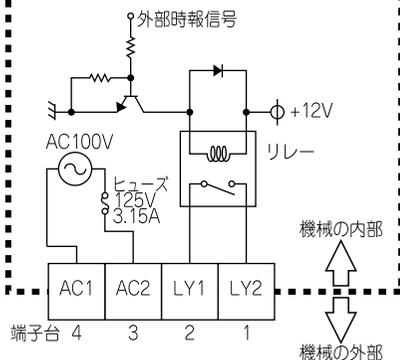
チャイム自体が電源を持っているとき

●1、2ピンから接点信号を取り出します。



●設定した時刻になると、設定した秒数（初期値：5秒間）だけ端子の1、4ピンがショートします。

電気配線図



外部時報接続部定格 : 3A 250V AC, 5A 30V DC
 外部時報接続部適用電線 : 単線φ0.4 (AWG26) ~ φ1.2 (AWG16)
 撚線0.3mm² (AWG22) ~ 0.75mm² (AWG20) 素線径φ0.18以上

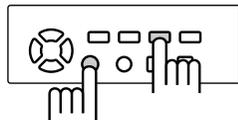
6 メンテナンス

6-2 データクリア



- データクリアを行うと今月度の打刻データを全てクリアし、使用人数が0人になります。
- データクリアを行っても設定内容はクリアされません。
- 本機能で行ったデータクリアはレポート印刷には反映されません。

- ① **勤怠設定** ボタンと **クリア** ボタンを同時に約5秒間押し続けます。
⇒ピピピピピッと音が5回鳴り、データがクリアされます。(この時画面に約0.5秒間データクリア表示がされます。)



6-3 本体のリセット



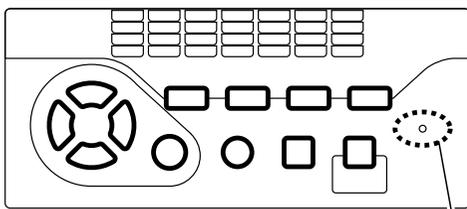
- ご使用中に機械がフリーズした場合、本体をリセットすることができます。
- リセットにより打刻データや設定内容が変わる場合があります。
- リセットを行っても機械が動作しない場合はすぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。

- ① **オプション** ボタンの右下にある小さい穴に針金のような細い物を入れて軽く押します。
⇒本体がリセットされます。



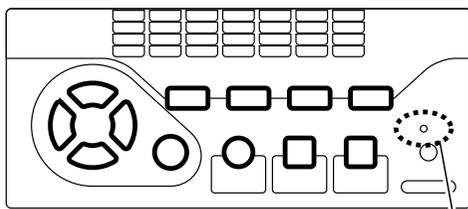
- 本体のリセットは電源を入れたまま行ってください。

ER-240S



リセット

ER-250S



リセット

6-4 パスワードを忘れたとき

マスターパスワードは「3669」です。マスターパスワードを入力するときは、4桁目をセットするときには **☑寝かせて使う** ボタンを押します。(通常は **セット** ボタン)

- ①パスワード入力画面で1桁目の数字を「3」に合わせ、**セット** で確定します。
- ②パスワード入力画面で2桁目の数字を「6」に合わせ、**セット** で確定します。
- ③パスワード入力画面で3桁目の数字を「6」に合わせ、**セット** で確定します。
- ④パスワード入力画面で4桁目の数字を「9」に合わせ、**☑寝かせて使う** ボタンを押します。

⇒設定されているパスワードを約2秒間表示した後、設定モードに入ります。

- パスワードを消したいとき

設定されているパスワードを4桁入力すると、1桁目の点滅に戻ります。
このときクリアボタンを押すとパスワードが無くなった状態に戻ります

7 インクリボンの交換方法

印字がうすくなったら早めにお使いの機種に合った専用インクリボン（別売）と交換してください。

ER-240S用インクリボン：ER-IR101（黒）

ER-250S用インクリボン：ER-IR102（黒・赤 2色）

※インクの補充はできません。お求めは、タイムレコーダをお買い上げになったお店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

⚠ 注意



●**プリンタヘッドには絶対にさわらないでください。**印字直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどの原因になります。

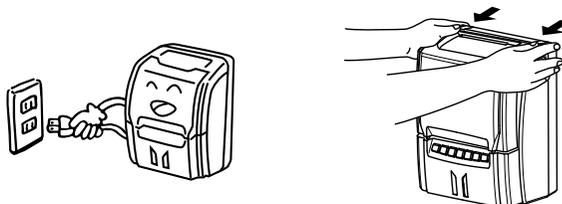


●**インクリボンの交換の際には、必ず電源プラグを抜いてください。**本機が不意に動作した時、けがの原因になります。

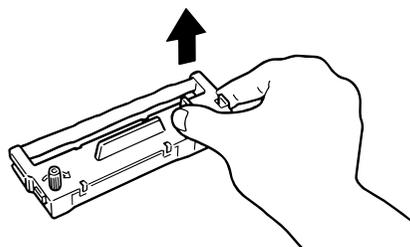


●**インクリボンの交換の際、万一、指や体にインクが付着した場合は、すぐに石鹸水で洗い流してください。**

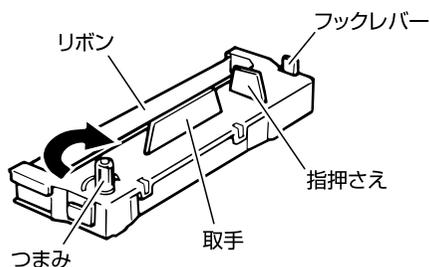
- ①電源プラグを抜いてからフロントカバーを外します。
倒れないよう、本体をおさえながら行ってください。



- ②リボンカセットの「指押さえ」と「フックレバー」を右手の親指と人差し指ではさみ、そのまま持ち上げます。次に「取手」を左手でつまんで持ち上げ、インクリボンを取り外します。

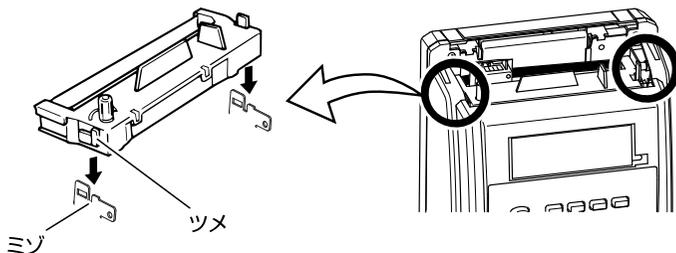


- ③新しいリボンカセットを取り出し、「つまみ」を必ず矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。（エンドレスリボンです。たるみを取るために巻き取った部分も使えます。ピンと張るまで十分に巻いてください。）逆に巻くと使用できなくなります。

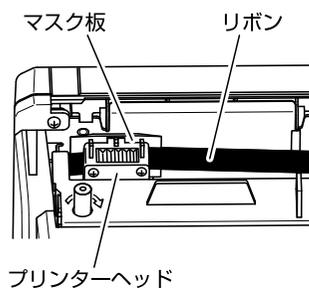


7 インクリボンの交換方法

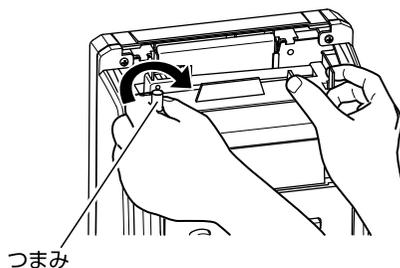
- ④リボンカセットの左右両面側の「ツメ」を本体のカセット台の「ミゾ」に合わせます。



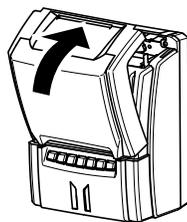
- ⑤リボンカセットの「つまみ」を回しながら、「リボン」が「プリンタヘッド」と「マスク板」の間になるよう、カチッと音がするまで押しつけます。(きちっとセットされていないとリボンが送られない場合があります。)



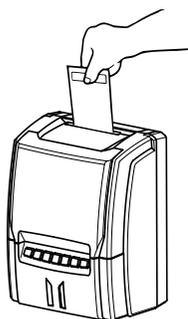
- ⑥リボンカセットのつまみを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。この時、リボンが正しくセットされているか、リボンのねじれがないか確認してください。



- ⑦フロントカバーを取り付けます。



- ⑧電源プラグを差し込み、未使用のタイムカードを入れて印字が正常であることを確認してください。



⑧ こんな時は

故障と思われる前にご確認ください。

| 現象 | チェック方法 | 処置 |
|-----------------------------|--------------------------|--|
| カード印字しない | インクリボンを正しくセットしていますか | インクリボンを正しくセットしてください |
| タイムカードが入らない | カードの曲がり、破損はないですか | 新しいカードをご使用ください |
| カードが入ったまままでてこない | 印字途中、電源コードが抜かれていますか | 電源コードを抜き、差し込み直してください |
| 印字する段がずれる | 印字中に押し込んだり、ひっぱったりしていませんか | カードは自動送りされますので軽く差し込んでください |
| 印字がうすい | インクリボンを永く使っていませんか | インクリボンを新しいものと交換してください |
| 電波受信マークがつかない (ER-250Sのみ) | 設置場所は適切ですか | 受信しやすい場所で受信してください ●窓の近く ●電化製品やOA機器から離す ●電波受信ユニットをタイムレコーダ本体から離す ●電波受信ユニットを送信アンテナのある方向にむける |
| | 自動受信の設定時刻は適切ですか | 昼間よりも深夜の方が電波状態が良くなり受信しやすくなります |

- 以上の処置を行っても、正常に復帰できない場合は、お買い上げ店またはお近くのマックスサービス（株）窓口まで、ご相談ください。

⑨ メッセージおよびエラー一覧

設定中にメッセージ表示をしたり、カード操作中にエラー音（ピッピッピッピッ）が鳴りエラー表示をします。メッセージ表示内容やエラーコードを確認して処置を行ってください。

メッセージ表示

| メッセージ | 内容 | 処置 |
|-----------------|--|--|
| DATA ⇔ CLEAR | 使用中の締日、日付変更時刻、集計あり/なし、集計項目の設定変更により、タイムレコーダ内部の打刻データをクリアする | 〔セット〕 ボタンを押すと打刻データをクリアし、設定を確定します 〔時計に戻す〕 ボタンを押すと設定を変更せずに時計表示に戻ります |
| FACE | 前回の集計結果を印字しようとしたが、タイムカードの表裏が反対になっている | タイムカードを裏返して挿入し、集計結果を印字してください  P.21 |

⑨ メッセージおよびエラー一覧 つづき

エラー表示

| エラー表示 | 内容 | 処置 |
|--|--|--|
| E-00 | 自動送りされる位置までタイムカードが入っていない | タイムカードが自動送りされるまで、軽く押し込んでください |
| E-01 | カードの表裏上下が間違っている | カードを正しい向きで入れてください 締日を確認してください。締日の翌日がカードの前半の1段目に打刻されます |
| E-02 | パンチ穴が正常に読めない | カードが自動送りされたら、手を離してください カードの曲がりなどがいないか確認してください |
| E-04 | <ul style="list-style-type: none"> ●すでに退勤打刻が終了している ●すでに打刻済みの印字欄を選択して打刻しようとした | ●同じ印字欄には打刻できません |
| E-05 | <p>今月の使用人数が50名（4欄印字時）を超えている</p> <p>今月の使用人数が150名（6欄印字時）を超えている</p> | |
| E-08 | 先月使用したタイムカードを挿入した（4欄印字でお使いのとき） | |
| E-34 | 勤怠設定の時刻の順序が「早出」 ≤ 「始業」 < 「終業」 ≤ 「残業」 になっていない | 勤怠設定の時刻の順序を修正してください |
| E-38 | FR EE のメッセージ表示後、30秒間タイムカードが挿入されない | 約3秒で時計表示に戻ります |
| E-39 | FR EE のメッセージ表示後、別のカードが挿入された | 約3秒で時計表示に戻ります |
| E-69 ⁰⁰ E-69 ⁰¹ E-69 ⁰² | 自動送りされても、カードがスムーズに入っていない（出ていかない） | E-02 と同様の処置を行ってください |
| E-88 <small>ER-250Sのみ</small> | <ul style="list-style-type: none"> ●電波による時刻補正ができない ●電波による時刻補正が中断された | <ul style="list-style-type: none"> ●電波受信ユニットの設置位置を移動して確認してください ●時刻補正動作中にキー入力や打刻を行うと時刻補正が中止されます |
| E-EE | プリンタ異常 | 電源プラグを抜き差ししてください |
| E-PS | 入力したパスワードが合っていない | パスワードが正しいか確認してください |

10 商品仕様

| 商品名 | ER-240S | ER-250S |
|--------|--|---|
| 電源 | AC100V 50/60Hz | |
| 外形寸法 | 242 (H) × 187 (W) × 130 (D) mm | 304 (H) × 187 (W) × 149 (D) mm (電波受信ユニット装着時) |
| 質量 | 2.2Kg | 2.4Kg (電波受信ユニット装着時) |
| 消費電力 | 通常5W 最大32W | |
| 時計機構 | 水晶発振式 | 電波時計、水晶発振式 |
| 表示管 | 蛍光表示管 | |
| 表示内容 | 日付、曜日、時分、AM/PM | |
| 印字方式 | インパクトドット方式 | |
| 印字内容 | 日付、曜日、時分、時間数、(チ)、(ソ)、(ハ)、(ザ)、(ショ)、(チョッコウ)、(チョッキ) | |
| メモリー保持 | 工場出荷時より累計停電5年間 | |
| 使用人数 | 最大50人 (6欄印字で使用する場合は最大150人) | |
| タイムカード | 専用カード「ER-Sカード」 | |
| インクリボン | 専用インクリボン「ER-IR101」 | 専用インクリボン「ER-IR102」 |
| 使用温度 | 0℃～40℃ | |
| 保存温度 | -20℃～60℃ | |

11 保証書とアフターサービス

保証書について

- 保証期間中万一故障した場合、保証書記載内容に基づき無料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間後の修理は、お買い求めの販売店、当社営業所、またはマックスサービス（株）窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- お客様登録カード：お客様登録カードに所定事項をご記入の上FAXにて送信するかハガキ部分をご投函ください。マックスお客様リストに登録し、アフターサービスに活用させていただきます。

アフターサービスについて

- お買い求めの販売店、または当社営業所、マックスサービス（株）にご相談ください。
- 持ち込み修理：修理品を販売店、またはマックスサービス（株）の窓口にお持ち込みください。

※専用タイムカード「ER-Sカード」、専用インクリボン「ER-IR101」、「ER-IR102」のお求めは、タイムレコーダをお買い上げになったお店またはお近くの文具・事務機販売店にご用命ください。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



| | | |
|----------------|---------------------------|---------------------|
| 本社・営業本部 | 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 | TEL(03)3669-8108(代) |
| 札幌支店 | 〒060-0041 札幌市中央区大通東6-12-8 | TEL(011)261-7141(代) |
| 仙台支店 | 〒984-0002 仙台市若林区卸町東2-1-29 | TEL(022)236-4121(代) |
| 東京支店 | 〒103-8502 中央区日本橋箱崎町6-6 | TEL(03)3669-8141(代) |
| 名古屋支店 | 〒461-0025 名古屋市東区徳川1-11-23 | TEL(052)935-8531(代) |
| 大阪支店 | 〒553-0004 大阪市福島区玉川1-3-18 | TEL(06)6444-2031(代) |
| 広島支店 | 〒733-0035 広島市西区南観音7-11-24 | TEL(082)291-6331(代) |
| 福岡支店 | 〒812-0006 福岡市博多区上牟田1-5-1 | TEL(092)411-5416(代) |
| 盛岡営業所 | 〒020-0824 盛岡市東安庭2-10-3 | TEL(019)621-3541(代) |
| 神戸営業所 | 〒650-0017 神戸市中央区楠町6-2-4 | TEL(078)367-1580(代) |
| 南九州営業所 | 〒891-0115 鹿児島市東開町3-24 | TEL(099)269-5347(代) |
| 新潟マックス(株) | 〒955-0081 三条市東裏館2-14-28 | TEL(0256)34-2112(代) |
| 群馬マックス(株) | 〒371-0844 前橋市古市町233-5 | TEL(027)210-7755(代) |
| 埼玉マックス(株) | 〒331-0823 さいたま市北区日進町3-421 | TEL(048)651-5341(代) |
| 千葉マックス(株) | 〒284-0001 四街道市大日1870-1 | TEL(043)422-7400(代) |
| 横浜マックス(株) | 〒241-0822 横浜市旭区さちが丘7-6 | TEL(045)364-5661(代) |
| 長野マックス(株) | 〒399-0033 松本市笹賀8155 | TEL(0263)26-4377(代) |
| 静岡マックス(株) | 〒422-8036 静岡市駿河区敷地1-3-26 | TEL(054)237-6116(代) |
| 金沢マックス(株) | 〒921-8061 金沢市森戸2-15 | TEL(076)240-1871(代) |
| 京滋マックス(株) | 〒612-8414 京都市伏見区竹田段ノ川原町9 | TEL(075)645-5061(代) |
| 岡山マックス(株) | 〒700-0971 岡山市野田3-23-28 | TEL(086)246-9516(代) |
| 四国マックス(株) | 〒761-8056 高松市上天神町761-3 | TEL(087)866-5599(代) |
| 徳島営業所 | 〒770-0866 徳島市末広1-4-25 | TEL(088)623-0286(代) |
| 松山営業所 | 〒790-0951 松山市天山2-1-35 | TEL(089)913-0608(代) |
| マックスサービス(株)札幌 | 〒060-0041 札幌市中央区大通東6-12-8 | TEL(011)231-6487(代) |
| マックスサービス(株)仙台 | 〒984-0002 仙台市若林区卸町東2-1-29 | TEL(022)237-0778(代) |
| マックスサービス(株)高崎 | 〒370-0031 高崎市上大類町412 | TEL(027)350-7820(代) |
| マックスサービス(株)埼玉 | 〒331-0823 さいたま市北区日進町3-421 | TEL(048)667-6448(代) |
| マックスサービス(株)名古屋 | 〒461-0025 名古屋市東区徳川1-11-23 | TEL(052)935-8210(代) |
| マックスサービス(株)大阪 | 〒553-0004 大阪市福島区玉川1-3-18 | TEL(06)6446-0815(代) |
| マックスサービス(株)広島 | 〒733-0035 広島市西区南観音7-11-24 | TEL(082)291-5670(代) |
| マックスサービス(株)福岡 | 〒812-0006 福岡市博多区上牟田1-5-1 | TEL(092)451-6430(代) |

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

05・11 Vol.3

ホームページアドレス:<http://www.max-ltd.co.jp/op/>